



第79号

●主な記事

支部・同期会・OB会だより
母校近況・寄贈図書

令和3年6月15日発行
一般社団法人 長野高等学校金鶴会
事務局 ☎(026)235-3822
発行人 加藤 久雄
編集人 桃林 聖一

URL
<http://www.kinshi.org>
E-Mail
dousoukai@kinshi.org



日本ガンバレ！長野ガンバレ！長高ガンバレ！

同窓会長 加藤久雄（高13回）

全国の同窓生の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。長野市は、一昨年の台風19号災害、更に1年以上続く新型コロナによって、市の経済は文化芸術やスポーツ、サービス業を中心に深刻なダメージを受けています。連日新型コロナの感染者が発生している中、ワクチン接種をいかに早く広範囲に実施することが、経済の回復に繋がる重要なカギとなっています。そこで、長野市では医師会、歯科医師会、薬剤師会、大病院の全面協力を得て、まず168の医療機関による個別接種を基本として、そこに大規模施設での集団接種を補完して、65歳以上の方の接種を7月末までに完了し、終了次第、順次年齢を下げ接種を進めたいと考えています。

それについても私が頗もしく、また有難く思うことは、今この重要な局面で役割を担っていただいているのがまさに金鶴会同窓会の絆であります。

さて、今年度計画しておりました6月26日（土）の同窓会総会ですが、全国で緊急事態宣言が拡大している状況の中、本当に残念ですが、昨年同様、今年度についても中止の決断を致しました。当番幹事である高37回・高49回の皆様には2度にわたる延期となり大変なご苦労をおかけします。そこで来年度は、高37回・高38回・高49回・高50回の皆様に合同で幹事をしていただくということでお願いします。また、最高議決機関である学年幹事会は、昨年同様書面評決で実施致します。

今、長野高校では、新型コロナ対策に先生と生徒がさまざまな工夫をして、学習や行事、クラブ活動などができる範囲で実施しています。同窓生の皆様にはどうか一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、同窓生の皆様のご健勝を祈念し、必ずや元気で再会できる日が来ることを願っております。

令和3年度 同窓会総会中止のお知らせ

6月26日（土）に開催を予定しておりました同窓会総会・講演会・懇親会は、新型コロナウイルス感染の状況に鑑み中止することにいたしました。

学年幹事会につきましては、昨年同様書面による意

見表明をしていただくことになります。

来年度の当番幹事は、高37回・高49回の皆様と高38回・高50回の皆様に合同で幹事を務めていただくことになりますので、よろしくお願ひいたします。



4/28 東和田運動公園で2年ぶりに駅伝大会が実施されました。



応援練習を中庭で実施。学年を2つに分けるなどコロナ感染対策を工夫しました。



本校においてもICT機器の活用が進んでいます。

学校長 宮本 隆

同窓会の皆様方には日頃から大変お世話になっております。この3月に卒業した2名の生徒に120周年記念

事業により設置された太陽光発電による奨学金を給付いただきまして、まことにありがとうございました。また、昨年度は、コロナ禍によりオンライン等の使用が始まったことで必要になった大型スクリーン、度重なる入試改革の変更に惑わされた3年生のために共通テスト用鉛筆削りや応援のためののぼり旗、さらに課題研究発表大会の優秀者に盾をご寄付いただきましたことを合わせて感謝申し上げます。

さて、文部科学省が推進しているGIGAスクール構想など、学校教育でのICT活用が話題になっていますが、本校においても昨年度から今年度にかけて劇的に環境整備が進んでいます。

一つ目としてはWi-Fi環境が整備されたことです。これは県教委が全県で進めている事業ですが、さらにPTAのご厚意により県教委事業では整備されない研究室等にもアクセスポイントが設置され、学校内のどこからでも登録された端末によりインターネット環境が提供されることになりました。

二つ目としては、先生方も全員共通のタブレット(Surface Go)を使用し、授業等に活用することが可能となりました。昨年の休校時のオンライン授業では、パソコンにカメラ機能がなかったため、先生方は個人所有のスマホ等を使用して動画作成に腐心されていました。しかし、今年度は、たとえ休校になったとしても、カメラ付きの端末を先生方は持っているうえに、すべての教室にWi-Fi環境があるので、同期型(ライブ型=ZoomやGoogle meet)オンライン授業の配信が可能となりまし



授業中、タブレットはプリントの配信や課題の提出、また直接書きこんでノートがわりに使用されています。



同窓生からいただいた寄付で3年生応援ののぼり旗を作製

た。今後は、職員会議もタブレット持参でペーパーレス化の方向で考えています。

三つ目としては、生徒がタブレット(iPad)を持ち、授業等に活用していることです。昨年度の休校明けに、先進的にタブレット使用を始めている学校を視察に行き、導入することを決定いたしました。しかし、本校での仕様を検討するにはそれなりの時間がかかったことや、折からのコロナ禍におけるタブレット需要が増大したことにより、タブレット供給が間に合わなかったこともあり、実際の導入には時間がかかりました。現2年生は今年の2月から、現1年生は4月から生徒全員が、どこでも通信可能なタブレット(iPad)を持って授業等に活用しています。

四つ目としては、ICT推進室を校内に設置したことです。1階東側の書庫を整理して、現在常駐者2名で運営していますが、今後はもっと大人数の担当者が必要になるかもしれません。

以上の他に、県教委が進めている統合型校務支援システムの運用が始まり、教育情報の一元管理により、業務の標準化・効率化が図られることで、教職員の業務負担の軽減、教育の質の向上を推進する予定です。

これらの機器やシステムは活用を始めてまだ日が浅いため、担当の教員も試行錯誤の段階で、教員間でも技能等に大きな違いがあるというのが実情ですので、今後はさらに習熟度を高めてまいりたいと考えています。本年度も昨年度に引き続き、コロナ禍により教育活動の実施が見通せない部分はありますが、いずれにしても、より良い学校づくりに邁進する所存ですので、よろしくお願いいたします。

母校近況

令和2年度 金鶴賞 長野高校クラブ活動近況

令和2年度に顕著な活躍をした班・部活に同窓会より総額40万円の副賞を添えて金鶴賞を贈りました。また、コロナ感染症によりクラブ活動を制限されることが多かったので、激励の意味を込め全班・同好会に奨励賞を贈りました。

1. 金鶴優秀賞

- ・弓道班 4万5千円
全国選抜大会 男子 出場
北信越大会 男女 出場
- ・新聞部 4万5千円
全国高校総合文化祭
年間紙面審査賞 最優秀賞
- ・ECC班 4万5千円
全国高校生英語ディベート大会 入賞

2. 金鶴優良賞

- ・剣道班 2万5千円
北信越大会 団体男子 出場
- ・かるた班 2万5千円
新人戦県大会 団体優勝
- ・囲碁・将棋班 2万円
将棋新人戦県大会 団体2位

3. 金鶴奨励賞

- ・羽球班 1万円
新人戦県大会 団体ベスト8
- ・文芸班 1万円
全国文芸コンクール、県文芸コンクール
部門別優秀賞 佳作多数
- ・硬式野球班 1万円
秋季大会県大会 出場
- ・32の班・同好会 5千円
- ・定時制生徒会 5千円

4. 金鶴特別賞

上記各班で個人として活躍した8名のほか、陸上
班1名、吹奏楽班1名、放送部1名、NGP 2名、高
校生クイズ全国大会参加者3名の計16名に記念品を
添えて金鶴特別賞を贈りました。

○ NGP活動報告 ~新しい学びの場の創造~

NGP推進室主任 海沼孝典

日頃より本校の教育活動、および文部科学省指定の事業である「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（グローカル型）」へのご支援に感謝申し上げます。本校ではこの事業を「長野グローカルプロジェクト（NGP）」と呼んでおり、今年度が実施3年目になります。

昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大で、本校でも様々な教育活動を中止・制限せざるを得ませんでした。校外での活動の多くが中止あるいはオンラインでの実施となりました。このような状況ではありますが、NGP活動は日々進化しています。その1つが3月に実施した「International Anime Talk」です。この企画は米国リーダー研修の代替企画として実施しました。アニメファンの海外学生とオンラインで結び、日本語で語り合うプロジェクトです。探究学習に不可欠な「リーダーシップ」を体験的に学ぶ機会であると同時に、海外とのネットワーク構築を目指しました。

今年度のNGP活動が始まりました。1年生は最初の総合の授業で「自分が探究したいことは何かを考えることから本校での探究学習が始まりました。2年生は7月に実施予定のFW（フィールドワーク）に向けて自

分の研究テーマとFW希望先の絞り込みを行っています。3年生のNGP選択者は5月22日（土）の「国際会議グローカルアカデミア2021」に向けての準備を進めています。オンラインで長野と世界を結び「コロナ禍で長野市が経験して学んだこと」、「次のパンデミックに備えた街づくり」、「健康で安全で幸せな生活ができる都市」について話し合う予定です。

新しい生活様式が求められる中、NGP事業を通して「新しい学びの場」を創造していきたいと思います。今後ともご支援ご協力のほどよろしくお願ひいたします。



1年生課題研究中間発表会でのグループディスカッション

令和2年度 長野高等学校教育設備改善のための委員会 会計報告

収入総額 5,159,903円
 支出総額 660,869円
 差引残額 4,499,034円

収入 (単位:円)	
科目	決算額
雑収入	43
前年度繰越金	5,159,860
収入総額	5,159,903

支出 (単位:円)	
科目	決算額
ICT環境整備	463,890
フレット利用料	91,080
講師謝金交通費補助	23,437
フィールドワーク交通費補助	36,280
雑費	34,277
予備費	11,905
支出総額	660,869
差引残額	4,499,034

● 美術班 活動状況

美術班は、1年生5人、2年生4人、3年生3人の計12人で活動しています。活動は平日放課後、美術室において、班員同士わいわい楽しく、それぞれの作品の制作に励んでいます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、文化祭での一般公開が中止されました。さらに、北信高校美術展、県高校美術展などの展示でも公開が中止され、審査のみという形になりました。数少ない美術班の活動の成果をみていただく機会が軒並み中止となってしまい、悔しい思いをする班員も少なくありませんでした。



た。それでも、班員一人一人が自分のやりたい制作を精一杯行い、いくつもの個性あふれる作品を作ることができました。

新型コロナウイルスの影響は、決して悪いものばかりではありませんでした。毎年冬に行われる長野市善光寺の灯明まつり。そこで飾られる多くの灯籠の中で、ひときわ目立つ大灯籠4基のうちの1基を担当させていただきました。「晴れプロ」という、コロナ禍で活躍の場を失ってしまった高校生のために活動しているプロジェクトから提案があったのです。長野商業高校、中野西高校の美術班と連絡を取り合って、共同で制作させていただきました。今までにない、大規模なお祭りでの展示ということで、多くの方々に長野高校美術班の作品を見ていただくことができました。また、他校との交流や、班活内での学年を超えた制作の場となり、とても貴重な経験となりました。

今年度は、感染症対策を徹底しながら、文化祭や展示が行われる予定です。それを目標に、多くの皆様に自分たちの作品を見ていただける機会があることに感謝しながら、美術班一同、はりきって制作しております。応援よろしくお願ひいたします。

班長 3年 小池柚葉

● 合唱班

顧問 松本祐子

本校合唱班は終戦直後に男声合唱団として始まり、その後女声合唱団が誕生し、合同して混声合唱となつてからすでに30年以上が経過する伝統あるクラブです。定期演奏会は今年で48回目を数えます。近年は班員数

が20名に満たない編成となっておりますが、混声合唱を維持し、現在定期演奏会の成功に向けて日々熱心に活動しています。

さて、「新しい生活様式」がもはや新しくない昨今で

す。特に「歌うこと」は様々な制約を受けています。昨年度は各種コンクールや例年参加している演奏会などが次々中止されました。ただ、タイミングの妙で定期演奏会が規模を縮小しつつ開催叶ったことは大きな喜びです。また、合唱班OBOG会「カイトソサエティ」の皆様には物心両面でお支えいただき、感謝に堪えません。先輩方と同じステージで歌う『故郷の四季』は昨年で途切れ、今年も断念せざるを得ない状況ですが、再びご一緒できる機会を心待ちにしています。

合唱は「開くこと」が必要な活動です。胸を開く、気道を開く、瞳を開く…。マスク越しながらも懸命に開き、妥協することなく表現を追求する班員の姿に元気をもらっています。心を開き本音でぶつかり合える素敵な仲間たちです。情勢はまだまだ予断を許しません。まずは定期演奏会の無事開催を祈る毎日です。

【ご案内】

長野高等学校合唱班 第48回定期演奏会

6月26日(土) 於 若里市民文化ホール

開場 13時 開演 13時30分

(プログラム)

- ・コンクールステージ

- ・災害復興祈念ステージ

- ～東日本大震災から10年を迎えて～

- ・ミュージカルステージ

※プログラムの変更や限定公開の可能性もあります



令和2年7月、ホクト文化ホール中ホールにて第47回定期演奏会が開催されました。

○ 陸上競技班

班長 3年 田島直輝

陸上競技班は、今年度新たに3名の新入班員を迎え、計9名で活動しています。マネージャーがおらず、また男子班員のみの少々暑苦しい班活動ではあります(笑)、日々お互いを支えあいながら元気に練習を行っています。

さて、厳しかった冬が明け、いよいよ競技シーズンとなりました。冬季練習で培った基礎体力を基に、実践的な練習へ移行していく時期です。しかしながら、同時に怪我をしやすい時期でもあります。目標とする

大会で最高のパフォーマンスができるように、自分の体の状態をよく把握し、準備体操やドリルを入念に行いうよう心掛けています。

ところで、陸上競技といえば、ほとんどの種目が個人競技ですが、記録向上のためには仲間の存在が不可欠です。自己ベストを更新する、すなわち過去の自分に勝利することが第一目標ではあるものの、やはり共に切磋琢磨するライバルがいることはこの上ないモチベーションとなります。その代表例として、練習をしめくくる「ダウンスプリント(略してDS)」があります。短距離選手、長距離選手関係なく、班員全員で300メートルを走ります。イーブン走という建前なのですが、皆の意識が高すぎるために、毎度熾烈な先頭争いが繰り広げられます。自分たちの陸上競技への愛を再確認する貴重な機会の一つです。

練習は、主に長野市営陸上競技場で行っています。未だ新型コロナウイルスの収束の見通しが立たない中、多くの学校の陸上班員が集まる競技場内での3密を避けるために、休日練習の時間を変更するなど、選手の健康を第一に考えています。これからも、陸上競技班をどうぞよろしくお願ひいたします。



5/15 北信総体、男子4×400メートルリレー予選、2組2着通過で県大会出場権を獲得しほっとしている様子

支部・同期会・OB会だより

生物班 OB交流会誌「うばたまむし」

生物班に所属した卒業生の交流の場として誕生した会誌「うばたまむし」が、長野市に編集の拠点を移して10年。編集委員会は、このほど13号を発行しました。2007年、島田知彦さん（高50回、平成10年卒）を隊長に京都で創刊され、生物班の年間活動記録である班誌「吉丁虫（たまむし）」にちなんで、この名がつけられました。班誌は、1951（昭和26）年に創刊号がガリ版刷りで出され、今年でちょうど70年。41号までの発行を確認しています。

「うばたまむし」は年1回発行。卒業生ら30～50名から原稿が寄せられ、200ページ前後の冊子版とデータPDF版を会員に届けています。コロナ禍で同期会など直接顔を合わせる機会が失われるなかでも、世代を超える交流に役立っています。

冊子発行をきっかけに、生物班の前身「博物班」の活動内容、班誌や「♪かすみたなびく～」とうたい出す班歌誕生の詳細も広く知られるようになりました。昭和から平成にかけての班活動、昨年はコロナ禍で中断したいくつかの同期会、今も続く動植物観察や国内外の山行記録、家庭菜園、遍路歩きなど健康づくりの近況報告もあり、内容は盛りだくさんです。

特に13号では、コロナ禍で一変した日常報告にくわえ、各方面で活躍されているOBが、その専門知識を生かし「感染症のパンデミックに想う」、「感染症と『衛生警察』」などを紹介。ウイルスへの理解を深める一助となりました。

またこれまでに、生物班の一大イベント春夏の合宿を

特集。狭いテント生活、大鍋のカレーを囲んだ高原の夜、手作りいかだ顛末記、肝試し会など濃密だった日々も写真を添えて再現し、会場となった戸隠「相撲道場」や、飯綱の高原寮の様子も紹介。これら思い出話を通読すると、高校のころ研究のフィールドとした戸隠、飯綱高原の移り変わりもうかがい知ることができます。“時代の証言”的ひとつともなっています。

会員は、長野中学卒の90代から60代が中心ですが、中には20代の若いOBも。「うばたま」「累代飼育（継続発行）」を目標に、編集委員会は、高30年代以降の幅広い世代の卒業生の参加を歓迎します。OB誌の活動として併せて、班誌「吉丁虫」の全バックナンバーを収集。昨年、30号（昭和59年発行）の現存がわかり、残りは32号（昭和61年ごろ）だけとなりました。PDF化による保存のため、20～29、31～40号をお持ちのOBは事務局へ一報をお願いいたします。うばたまむし編集事務局 bobryu0517@yahoo.co.jp

（高22回 花崎秀紀）



生物班OB交流誌「うばたまむし」
最新の13号と目次、データDVD版

市民大学事業

古代史講座

主催：科学研究費補助金（基盤研究（S））「天皇家・公家文庫収蔵史料の高度利用化と日本目録学の進展—知の体系の構造伝来の解明」研究プロジェクト

協力：一般社団法人長野教育文化振興会 於 金鶴会館 大講義室

統・古典を読む—歴史と文学— 「いま明かされる古代」シリーズ46＆中世

第1回 3月28日(日) [第292回講演]

東京大学 史料編纂所 古代史料部門 教授 田島 公先生
「新たな紹介された更級郡清水庄・富部御厨の史料」
-「水落地蔵菩薩像」纳入文治三年「諸国勧進地蔵菩薩印仏」に見える信濃国の結縁者-

第2回 4月10日(土) [第293回講演]

東京大学大学院 人文社会系研究科 基礎文化研究専攻 美術史学講座 准教授 高岸 輝先生
「日本中世の肖像画を考える」
-「伝源頼朝像」をめぐる議論とその行方-

第3回 4月24日(土) [第294回講演]

放送大学 教養学部 教授・東京大学名誉教授 近藤 成一先生
「モンゴル戦争と信濃武士」-「蒙古襲来絵詞」を読み解く-

歴史講座

主催：一般社団法人長野教育文化振興会

「よみがえる戦国4」

3月14日(日) [第291回講演]

武田氏研究会 副会長・山梨県立中央高等学校 教諭 平山 優先生
「戦国の忍びの実像」-あの“忍者”は実在した-

第4回 5月8日(土) [第295回講演]

立命館大学 文学部 日本史研究学域 教授 本郷 真紹先生
「聖徳太子と仏教」-太子没後1400年を前に-

第5回 5月22日(土) [第296回講演]

早稲田大学 文学学術院 教授 川尻 秋生先生
「文字とことば」-文字文化研究の最前線から-

第6回 6月13日(日) [第297回講演]

早稲田大学 文学学術院 文学部 美術史コース 教授 山本 聰美先生
「日本美術の闇と光」-六道絵巻と「平家納経」の時代-

次回の夏季シリーズについては、長野教育文化振興会事務局までお問い合わせください。tajima@kinshi.org

金鶴太陽光120奨学金始まる

同窓会では、創立120周年事業として校舎に太陽光パネルを設置し、その売電収入を給付型奨学金として活用しています。昨年度より奨学金事業がスタートしました。給付金額は総額80万円としましたが、それに加え、高9回の定時制を卒業された同窓生から「自分も奨学金をもらって卒業することができたので、奨学金の足しにし

この頃は一段と暖かくなり、日中になると汗ばむほど陽気になってまいりました。

さて、この度は令和3年度金鶴太陽光120奨学金40万円及びOB様からの特別奨学金5万円を給付していただき、誠にありがとうございました。本来であれば直接そちらにお伺いできればよかったです、收まるところを知らない新型コロナウイルスの感染拡大状況もありますので、文書にて近況を報告させていただきます。

この4月から、首都圏の大学の国際商学部国際商学科に進学しました。さぞ華々しい、キャンパスライフを送ることができるだろう、と思っていたのですが、猛威をふるう新型コロナウイルスの影響により、大人数が受講する授業等は昨年に引き続き、「Zoom」を使用したオンライン授業の形式がとられています。確かにオンライン授業はいつでもどこからでも受講ができるという点で便利ではあります。しかしその分対面での授業はかなり制限されてしまっていて、学生同士や教員との交流が思うように進んでいない面もあります。今では週に数回ある大学での対面授業や友人と学食を食べることが、ささやかな楽しみになっています。人と関わることの大切さをひしひしと感じている今日この頃です。

この度は金鶴太陽光120奨学金の奨学生として認定していただきありがとうございます。学校生活が始まりましたので近況を報告させていただきます。

私が通っている大学は、オンライン授業ではなく対面で授業をしています。学校が始まって1カ月、友達に会うのが私にとって一番の楽しみです。私は教育学部保健体育コースのクラスにいますが、クラス単位で行動する学祭や野外活動が楽しみです。6月に県の森という学祭が予定されており、私はそこの実行委員会の一員として現在活動しております。予定では模擬店を出すことになっており、準備から全て考えて利益までも計算しなくてはならないのでとても苦労していますが、この活動を通してでしか関わることのないような人と出会い、活動できることがとても楽しいです。

一番楽しい授業は「身体運動化学ゼミ」という授業です。自分でスポーツのことで疑問に思ったことを調べて皆に発表します。私は、自分が長年続けてきたソフトテニスについて知りたいので、ラケット競技の共通点から、

ください」と10万円が送られてきました。そこで昨年度は、二人の生徒に45万円ずつ給付しました。同窓生の思いをバトンとして手渡すことができたのではないかと思います。進学した二人の生徒から、お札状が送られてきましたので、ご覧ください。

学業の話についてですが、国際商学部では、1年次で経済学、経営学の入門等を学び、2年次から各々のゼミに配属されるという形になります。また、「国際」商学部ということもあり、海外研修や留学プログラムが充実しています。私はこれらを積極的に活用していきたいと思っています。

将来についてですが、まだ漠然としたままになっています。しかし、商学や経営学に興味を持ったきっかけが、父の自営業を幼少期から手伝ってきて、商売の楽しさを感じたことであるので、曾祖父から続く店を継いでみたいという気持ちもあります。

どの道を進むにしても、私にはまだ社会に出て自立していく自信がありません。商売をするにしても、ただ物を売るだけでなく、お客様がどんなものを欲しているのかなど考えるべきことは沢山あります。そうした様々な技術を4年間の大学生活の中で身につけていきたいと思っています。

最後になりましたが、長野県長野高等学校金鶴会の更なるご活躍とご発展をお祈り申し上げまして、近況報告とさせていただきます。

予想されるケガなどのことについて調べていきたいです。これからこの研究に励みたいです。

課外活動では、小学校からやっているソフトテニスを続けることを決め、部活動に所属しています。先日、長野市で大会があり、2位になることができました。もっとよく競技について考えて、先輩からたくさん学び、全国大会を目指し頑張っていきたいです。また、競技的なことだけではなく、社会のマナーや先輩方との関わり方など、学業だけでは学べないようなことも学んでいきたいです。

現在、私は初めて親元を離れて寮で暮らしています。平日は3食出ますが、休日は食事がなく、毎日疲れても洗濯をしなくてはならなく、とても苦労しています。改めて親に対しての感謝の気持ちが生まれてきます。これから恩返ししていきたいと思います。また、寮は自治寮であり、私は会計の副係長になったので、およそ200人いる寮生をまとめられるように、しっかりと責任をもって仕事をしていきたいと思います。

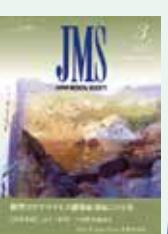
寄贈図書



日暮れて道なお達し
著者 今井通尋氏(長中37回)



医療・福祉の総合情報誌 JAPAN MEDICAL SOCIETY
2021年新春号～5月号
野村元久氏(高10回)寄贈



小説 張悦
中国の女子学生
著者 峯村純夫氏(高15回)



気になる子が活きるクラスづくり
発達特性を踏まえた保育のコツ
著者 福岡 寿氏(高28回)



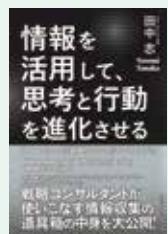
長野県立こども病院方式
超低出生体重児の
管理マニュアル
北澤憲孝氏(高38回)共著



ナーシング・グラフィカ 小児看護学③
小児の疾患と看護
北澤憲孝氏(高38回)共著
ほか10冊寄贈



読むラジオ講座
ミスチルで哲学しよう
著者 小林正嗣氏(高45回)



情報を活用して、
思考と行動を進化させる
著者 田中 志氏(高59回)



長野高校生物班OB会誌
うばたまむし13号
2020(令和2)年
生物班OB会 寄贈

回期別対抗ゴルフコンペのご案内

期 日 令和3年9月26日(日)
場 所 長野カントリークラブ TEL 026-239-3100
費 用 プレー代 13,050円(食事付き)
※優待券は使えません
競技方法 参加費 3,000円
新ペリア方式
☆団体戦：各回期上位3名までの団体合計成績順位
☆個人戦：個人別成績順位
申込方法 はがき又はFAXで同窓会事務局へ各回期3名以上の連記(2組以上も可)でお申し込み下さい。
締切り日 9月11日(土) *25組で締め切ります
※各組のスタート時刻、その他詳細については9月18日頃、
参加者にご連絡いたします。

令和3年度同窓会費(3,000円)のご送金をお願いいたします。

口座振替の方は6月28日(月)に引き落としとなります。
本年度は高11回までの会員の方々が会費免除になります。

送金方法

- 同封の振込用紙でのお振り込み
コンビニ・郵便局でお振り込みください
- 銀行へのお振り込みは下記の口座へお願ひいたします
八十二銀行 長野北支店 普通 133722
一般社団法人長野高等学校金鶴会
長野信用金庫 城北支店 普通 0031958
一般社団法人長野高等学校金鶴会

結婚相談

ご希望の方は申し込み用紙を電話またははがきでご請求ください。
年齢、性別、学歴等は問いません。

TEL.026-235-3822
長野市上松1-16-12
長野高等学校同窓会
結婚相談室

池田満寿夫ギャラリー

金鶴会館では池田満寿夫(高4回)の作品を50点余り、常設展示しております。
ぜひ、ご覧にお越しください。(平日14時～17時、それ以外の時間は予めご連絡ください。)




- 金鶴会館1階の廊下をヤスリで磨き上げて綺麗にしました。床板はなんと桜の木だったようで、その堅さに業者さんもびっくり。天然型浸透性オイルを塗り込んで、桜の木の斑の文様も浮かび上がっていました。かつてこの床の上を土足で飛び歩いた諸子は要必見。
- コロナウィルスはいつ収まるのでしょうか。今年も同窓会総会が中止で残念です。来年こそ元気な顔で皆さん、お会いしましょう。